

家族が一番のごち走

上越教育大学附属小学校六年

池田

寛菜

「おばあちゃん、準備出来た？」

私のおばあちゃんは、大阪で一人暮らしを
しています。おばあちゃんは、夏休みになる
と、私たち家族が遊びに行くことを楽しみに
待っていてくれます。ごち走を作って、みん
なでご飯を食べることが大好きだからです。

でも、去年も今年も、コロナの影響でおば
あちゃんの家に行けませんでした。私は、お

ばあちゃんがきちんとしてご飯を食べるか心
配で、夏休みに何度も電話をしました。

「ばあちゃん、ちゃんと食べてる？」

「暑くてご飯が入らんわ。」

おばあちゃんの声は、弱そうで力があリませ
んでした。いつも聞く、

「にぎやかで嬉しいわ。楽しいから、っいつ

い食べ過ぎたしまわい。」

と笑いながら話す、明るなおばあちゃんの声

と違って、とても心配になりました。お母さ

んに相談したら、

「時間を決めて、同じ時間に、テレビ電話しながら食べるのはどう？」

と、言われました。私は、面白いと思い、おばあちゃんを誘いました。早速、日曜日の夜七時に始めることにしました。おばあちゃんには、食べつくされる人がおらんと、作るのが大義」というのが口ぐせだった。なので、作るおかずのテーマも決めることにしました。

最初のテーマは、「ご当地食材」です。新

潟と言えは、お米。それに、新潟の夏野菜、枝豆。そこで私は二つを組み合わせた「枝豆入りライスコロッケ」を作ることに決めました。おばあちゃんに発表すると、

「じゃあおばあちゃんはたこ焼きコロッケにするわ。初めて作るわ。どないなるかな？」

と言って、笑いながら答え「くれしました。私は、お母さんに作り方を教わりながら、ライスコロッケを作りました。

「おばあちゃん、こちら準備出来ました。」

電話がつながったおばあちゃんに、私が作っ
たライスコロツケを紹介しました。おばあち
ゃんも、特製ったこやきコロツケ^レを見せて
くれました。
「いただきます^レ」

大阪と新潟で、ご飯タイムが始まりました。
「たこ焼きだけで食べた方がええわ^レ」
おばあちゃん^カの感想に、大阪と新潟で大笑い
しました。最後におばあちゃん^カが、
「久しぶりににぎやかなご飯で、おいしかっ

たわ。いっはい食べたわ。ありがとうな^レ。
と言ってくれました。

「どんなにおいしいご飯でも、みんなで囲む
ご飯の方が何倍もおいしいことを、私はまだ
知りません。でも、おばあちゃん^カの声の元気
さで、少しだけ分かった気がします。家族で
食卓を囲んで食べるご飯が、一番の「ち走な
んだって。」

「来年こそは、みんなと一緒にご飯を食べよ
うね、おばあちゃん^カ」